



任天堂 CSR レポート 2018

任天堂は、CSR活動を「任天堂に関わるすべての人を笑顔にする」活動と定義しています。このレポートはCSR活動の要点を簡潔にまとめたダイジェスト版です。CSR活動の詳細は任天堂ホームページをご覧ください。『CSRレポート2018』へのご意見・ご感想はホームページからお寄せください。

社名

任天堂株式会社 (英語名 Nintendo Co., Ltd.)

報告対象組織

任天堂グループ (任天堂 (株) および主要な子会社) を対象範囲としています。対象範囲が異なる場合は、個別に対象範囲を記載しています。なお、任天堂グループを示す場合は「任天堂」、任天堂株式会社を示す場合は「任天堂 (株)」と表記しています。

報告対象期間

2017年度 (2017年4月～2018年3月) の活動を中心に掲載しています。一部、直近または2017年度以前の活動も含まれます。

報告書発行時期

2018年6月
(次回予定：2019年6月 前回：2017年6月)

【お問い合わせ先】

任天堂株式会社 CSR推進プロジェクト事務局
TEL：075-662-9600 (代表)



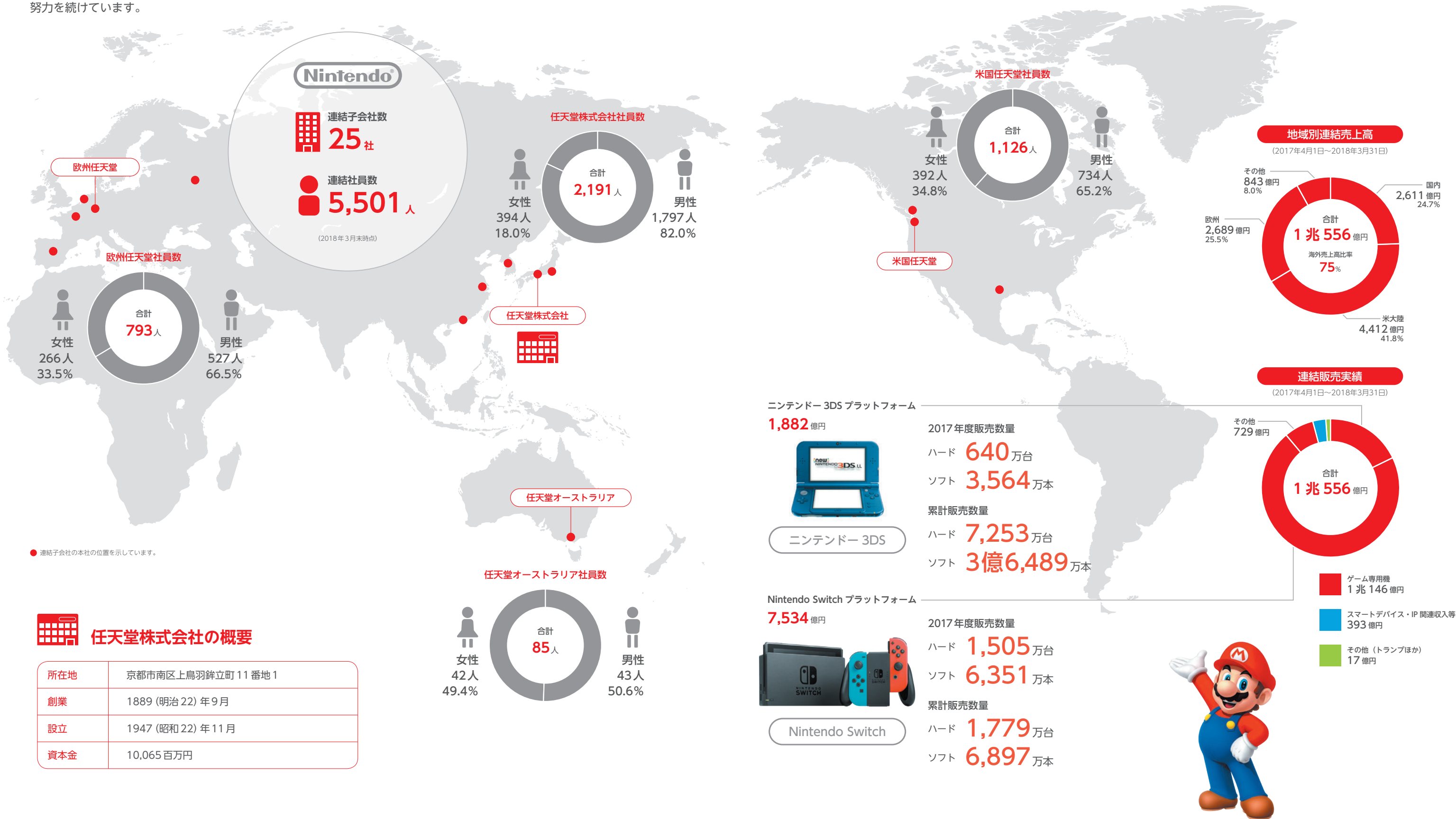
詳細版 (ホームページ)
www.nintendo.co.jp/csr/



CSR REPORT 2018

任天堂グループの事業概要

グローバルに展開する任天堂グループの各拠点で、日々ステークホルダーの皆様に笑顔をお届けするための努力を続けています。



任天堂に関わるすべての人を笑顔にするために 任天堂らしい「独創」の精神でこれまでにない娯楽 体験を生み出す挑戦を続けます

「任天堂に関わるすべての人を笑顔にする」というCSR方針のもと、任天堂の商品やサービスを通じて、社会に笑顔の輪を広げていくことが、娯楽企業である任天堂としての果たすべき社会的な責任と考えています。

2017年度を振り返って

任天堂は「ビデオゲームの会社」として知られるようになってからすでに30年以上経ちましたが、約130年前の創業時から一貫して「娯楽企業」であり、お客様に良い意味で驚いていただけるような新しい娯楽体験をお届けする努力を続けてきています。2017年3月には、家庭用テレビゲーム機でありながら外に持ち出せて「いつでも、どこでも、誰とでも」遊べる「Nintendo Switch」を発売し、幸いにも、年齢・性別・国籍を問わず多くの方々に、いろいろな場所で、そして多様なプレイスタイルで楽しんでいただいています。世界中のできるだけ多くの人々がNintendo Switchやニンテンドー3DSをはじめとした任天堂の商品やサービスを通じてつながり、触れ合い、社会に笑顔の輪が広がることを願っています。

任天堂は基本戦略として、「任天堂IP（知的財産）に触れる人口を拡大する」ことを掲げています。任天堂のゲーム機で遊んでおられる方はもちろん、任天堂のゲーム機で遊ばれていない方々には、スマートデバイスで「スーパーマリオ ラン」をはじめとしたゲームアプリを通じて任天堂IPに触れていただき、ゲームを離れた生活場面においても一人でも多くのお客様に任天堂とその商品やサービスに興味を持っていただくために、アパレルや食品、化粧品といった異業種企業と提携することで、任天堂のキャラクターを起用したさまざまなコラボレーション商品が皆様のお手元に届けられるようにしています。さらに現在、任天堂のキャラクター「マリオ」を扱ったアニメ映画の企画開発が進行しているほか、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの「SUPER NINTENDO WORLD」の建設を皮切りに、米国のユニバーサル・スタジオにおいても任天堂のキャラクターに触れていただける任天堂のテーマエリアができる予定です。このように積極的に任天堂IPを活用・展開し、任天堂のキャラクターに触れていただく機会を増やすことでキャラクターに親しみを持っていただき、一人でも多くの方を笑顔にしていきたいと思えます。

CSR方針のもと、一步一步着実に CSR活動を推進していきます

任天堂はこれまで、2015年に策定したCSR推進中期計画に沿ってグループ全体でCSR活動を進めてきました。任天堂は海外にも多くの拠点を持つため、研修やeラーニングなどCSRの社内浸透に向けた取り組みについても、海外グループ会社のCSR推進チームと連携しながらグローバルベースで進めてきました。国内外で共通のCSR重点項目を定める一方で、実際の活動においてはそれぞれの国や地域の文化・生活習慣などの特性や現地社員の考えかたなどへの配慮も重要と考えています。任天堂（株）のリーダーシップと各地での取り組みとの調和をうまく図りながらCSRを推進していくことを目指しています。

また、自社工場を持たない任天堂にとって、生産パートナーとの連携は欠かせません。生産現場で働く人々の労働環境の向上や高品質で安全な製品を生み出すため、CSR重点項目のひとつであるCSR調達活動を通じて、生産パートナーに任天堂のCSRの考えをご理解いただくこと、これを徹底いただくことに重点を置き、今後もより一層の連携を図っていきます。

そして、同じくCSR重点項目のひとつであり、任天堂の最も重要なテーマでもあるのが、「ゲームの新たな可能性の追求」です。競争や変化が激しいゲーム業界において、ユニークな商品を生み出す力はなくてはならないものです。たとえば、Nintendo Switchにダンボールを組み合わせた「Nintendo Labo」は、任天堂が提案する新しいあそびのひとつです。柔軟な発想で、ほかにはない独自の面白さをつくり出すこと、つまり「独創」こそが任天堂らしさであり、任天堂の強みでもあります。その強みを活かすためには、これらを担う多種多様な人材が力を発揮できる体制が必要です。「新しいことをやりたい」という思いを持った人たちがいきいきと活躍できる組織であることを常に目指しながら、新たな商品づくりに努めていきます。

人々を笑顔にすること それが任天堂の存在意義であり原動力です

「任天堂に関わるすべての人を笑顔にする」こと、それが任天堂の存在意義であり、原動力です。皆様に笑顔になっていただくには、まず、任天堂の商品やサービスをお客様に受け入れていただかなければなりません。そのうえで、お客様はもちろん、株主、取引先、社員などのさまざまなステークホルダーからの声に耳を傾けることが何より重要です。任天堂は今後も、より一層ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを深めつつ企業価値の向上を目指してまいります。なお、2018年6月28日開催の株主総会以降、新しい経営体制となりますが、CSR方針は変わることなく活動を進めてまいります。

「娯楽はほかと違うからこそ価値がある」という「独創」の精神で、これからも時代の変化に合わせて未来を切り拓いていく挑戦を続けていきます。

任天堂株式会社
代表取締役社長

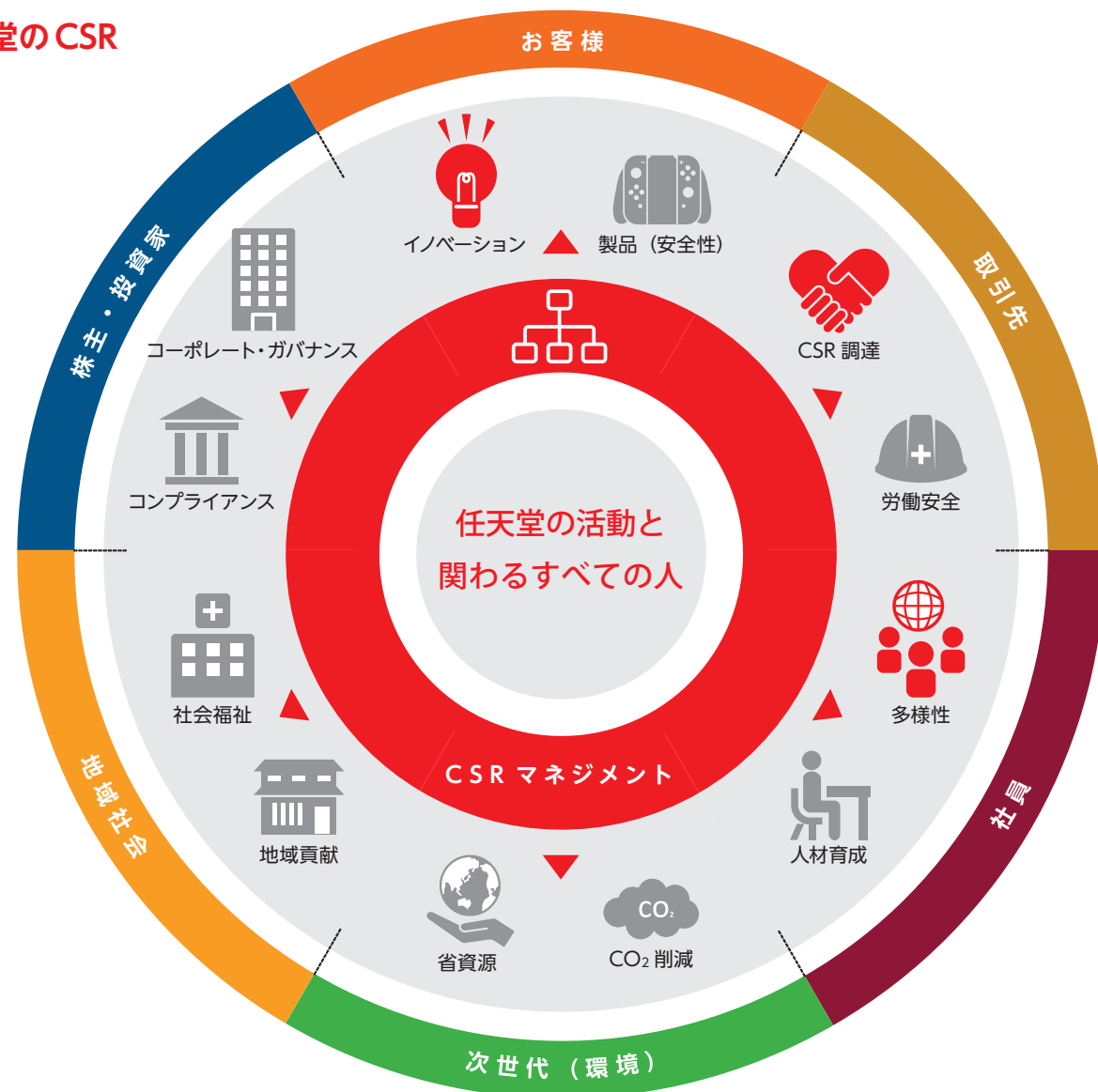
君島 達己



任天堂に関わるすべての人を笑顔にする

任天堂の事業活動による社会への影響は多種多様ですが、社内外からの期待や要望に応えることを目指し、2015年度よりCSR推進中期計画に基づくCSR活動を行っています。

任天堂のCSR



任天堂に関わるすべての人とのコミュニケーション

関わるすべての人	活動	方法・手段
お客様	お客様に常楽しく快適に遊んでいただくために、お客様の声にお応えする仕組みを整えるとともに、お客様の声に学び、より品質の高い商品づくりに努めています。	お客様相談窓口、修理対応窓口、販売店店頭、ホームページ、オンライン問い合わせ窓口、不正商品情報ご提供窓口、CSRレポート など
取引先	生産パートナーや開発パートナー、流通パートナーの皆様と良好な関係を築き、より良い商品をお客様に提供できる環境づくりに努めています。	CSR調達、任天堂CSR調達ガイドライン、第三者監査、実地調査、新製品展示説明会、CSRレポート など
社員	社員一人ひとりが個々の強みを活かし、最大限に能力を発揮できる環境づくりを進めています。	社長訓辞、行動規範、社員ハンドブック、研修、定期評価面談、安全衛生委員会、健康相談室、イントラネットによる情報共有、CSRレポート など
次世代(環境)	次世代を担う子どもたちにも継続的に笑顔を届けるため、より良い環境を引き継いでいくための取り組みを行うことが重要な責務と考えています。製品設計においても、事業活動においても地球環境への配慮に努めています。	ISO14001認証、グリーン調達、化学物質管理、CSRレポート など
地域社会	私たちがだからこそできる貢献を通じて、社会から愛される企業市民でありたいと思っています。	社会貢献活動、CSRレポート など
株主・投資家	株主や投資家の皆様への利益の還元や適時適切な情報開示に努め、長期にわたりお付き合いいただけるよう信頼関係の構築と企業価値を高める努力を続けています。	招集通知、株主総会、決算説明会、経営方針説明会、ホームページ、アニュアルレポート、有価証券報告書、コーポレート・ガバナンス報告書、CSRレポート など

CSR推進中期計画について

任天堂では、CSRの目指す姿を描くと同時に、道しるべとなる到達点を設定し、そこに向かって着実に歩みを進めていくことが重要だと考え、2015年にCSR活動についての中期的な目標として、CSR推進中期計画を策定しました。社会からの要請や事業の特性、社内外の意見などを踏まえ、「CSRマネジメント」「ゲームの新たな可能性の追求」「生産パートナーとともに進めるCSR調達」「多様性のある職場の実現」の4つのCSR重点項目を定め、取り組むべき目標を3年ごとの3段階に分けて進めています。

CSR推進中期計画(年度)

- 重点項目を特定する
- CSRを社内に浸透させる
- 特定した重点項目について、取り組みを決め実行する

フェーズ1

2015 - 2017

- 重点項目の改善を継続する
- 任天堂にとって強みのある分野で、取り組みレベルを向上させる

フェーズ2

2018 - 2020

- 任天堂の強みを活かした取り組みで、社会からの期待に応え、笑顔を増やしていく

フェーズ3

2021 -

目指すべき姿に向けて一歩ずつ歩みを進める

2015年に策定したCSR推進中期計画は、3年ごとの3段階（フェーズ1～フェーズ3）で、4つのCSR重点項目を設定して取り組みを進めています。2017年度はフェーズ1（2015～2017年度）の最終年度として、それぞれの取り組みをご紹介します。

CSR 重点項目 CSR マネジメント



PDCAサイクルに基づいて自分たちの取り組みを定期的に見直し、将来起こりうる課題に早くから気づき、対応できる組織を目指し、それぞれの地域に合わせて、委員会を設置し担当者を設けています。CSR推進体制の強化と同時に、関わるすべての人に任天堂の想いを理解していただけるよう努めます。また、社会が任天堂に期待することをしっかりと受け止めます。

CSR 推進中期計画 フェーズ1

1 重点項目を特定する

任天堂の事業活動は多種多様ですが、社内外からの期待や要望をもとに、4つのCSR重点項目を特定しました。特定するにあたっては、社員に対するグローバルベースでのアンケートの実施や、生産パートナーとのコミュニケーションを通じた情報収集を行いました。その情報をもとに、各国のCSR担当者が一堂に会し、お互いの国や地域の文化的背景や法規制で求められていることの共有と話し合いを行いました。

- CSR マネジメント
- ゲームの新たな可能性の追求
- 生産パートナーとともに進めるCSR調達
- 多様性のある職場の実現

2 CSRを社内に浸透させる

CSRに関する正しい理解を持ってもらうために、セミナーやイントラネットを利用して社員へ啓蒙を行いました。任天堂（株）では「知ってもらう」「理解を深めてもらう」「参加してもらう」を浸透活動の3本柱として活動を行ってきました。海外においても、それぞれの地域のCSR委員会などが中心となり、地域に即した活動を推進し、周知を図っています。



3 特定した重点項目について、取り組みを決め実行する

任天堂株式会社



任天堂（株）は、専門の部署や部門を設けるのではなく、部門横断のプロジェクトとして、グローバルにCSR活動を推進しています。プロジェクト型CSR活動の中心的な役割を担っているのがCSR推進プロジェクト事務局です。2018年はCSR推進中期計画のフェーズ1の振り返りとフェーズ2の具体的な計画を立て、着実にプロジェクトを進めるための一年と位置づけています。現在の4つのCSR重点項目はもちろん、ビジネスと人権、環境関連の課題など、企業をとりまく社会的な課題に対して、これからも任天堂らしいCSR活動を推進していきます。

米国任天堂



私たちは、日本の「おもてなし」精神を具現化するため、ステークホルダーの皆様に誠実に接するとともに、グローバル企業として責任あるビジネス慣行を促進し、人権を守り、学び成長することにより、高いレベルのCSR活動を目指します。

CSR推進中期計画のフェーズ1では、米国任天堂のCSR活動の深化と拡大のために、CSR委員会が改善すべき分野を特定しました。また、職場での多様性を支援するために、部門横断のチームを設けました。そして、米国任天堂の事業が責任ある購買とパートナーシップを確実にサポートできるようにするため、サプライチェーン活動の見直しを進めています。フェーズ2では、これらの分野を引き続き推進するとともに、環境配慮や、職場の安全衛生、多様な意見と提案を活かせる職場を目指します。これからもすべての皆様にコミットしていきます。

欧州任天堂（ドイツ）



欧州任天堂CSR委員会は、2015年に社内におけるCSR活動や意識を高めるため、関連部署の代表者をメンバーとして設立されました。各メンバーは部署の代表者としてCSRを深く理解し、それぞれの役割や部署の特徴を活かせるCSR活動やアイデア、またCSR全般についても協議を行っています。また、フェーズ1の推進活動の一環として、欧州任天堂のイントラネットに「CSRチャンネル」というCSR情報ページを設け、社員全員に対する情報提供もはじめました。今後はCSR委員会において、各部署から挙がる議題に対する積極的な協議、会社全体での活動の推進、活動状況をCSRチャンネルでの報告、現在のコンテンツの見直し作業などを通じて、効率的に社員のCSRに対する理解を広げていきたいと考えています。

任天堂オーストラリア



任天堂オーストラリアでは、複数の部門の社員で構成されるCSR委員会が、地域に合わせたCSR活動を支援しています。フェーズ1のCSR委員会の主要な挑戦は、任天堂のCSR活動の認知度や知識を高めることです。その一環として、CSR委員会とボランティアが参加するCSR活動の記事や写真を社員向けニュースレターに記載し、四半期ごとに発行することに決めました。この取り組みによって、CSR活動の認知度を高めることに加え委員会のメンバーが増え、フェーズ2に向けて職場での多様性に関する活動などを含む既存の取り組みの改善に注力できるようになりました。また、任天堂オーストラリア独自の活動に加えて、さまざまな地域団体からの支援要請にも応じています。さまざまなCSR活動で任天堂のビデオゲーム専用機とソフトウェアを使用することができるようになりました。今後、活動をさらに多角化し、より幅広い範囲の選定された地域団体と協力し続けたいと考えています。



お客様の笑顔のために

すべてのお客様に安心して遊んでいただけるように、お客様の声に学び、より品質の高い商品づくりに努めています。



CSR 重点項目 **ゲームの新たな可能性の追求** イノベーション

任天堂が提供する娯楽は生活必需品ではありません。お客様に手に取っていただくためには、常にお客様に新しい驚きと体験をお届けする必要があります。

任天堂はそうした厳しい環境の中で、ハードウェア・ソフトウェア一体のものづくりや世代を超えて愛されているキャラクターの活用など、任天堂独自の強みを活かし、年齢やゲーム経験の有無に関わらず、どなたにもお楽しみいただける商品の提供に努めてきました。

また、そうした商品開発の過程で培ってきた、説明書を読まなくても自然と使いかたがわかる商品づくりのノウハウや、飽きずに継続してお楽しみいただけるノウハウも活用し、常に「娯楽の新しい可能性」を追求していきます。

「スーパーマリオメーカー」が提案するさらなる笑顔の連鎖

2015年にWii U、2016年にニンテンドー3DSのソフトウェアとして発売された『スーパーマリオメーカー』は、横スクロールのコースを遊んで楽しむだけでなく、自分で簡単に落書きをするような感覚で「ゲームづくり」も楽しめます。このソフトウェアは、お客様が「自分の想像で新しい経験を生み出す」というゲーム開発者の仕事を簡単に体験し、お客様同士でのコミュニケーションを生み出すことができます。発売以来、このソフトウェアを活用し、いろいろな地域でさまざまな取り組みを行っています。



欧州任天堂 (ドイツ)
写真: © Cologne Public Library

創造性と論理的思考を育むプログラムの支援

欧州任天堂は、ドイツのケルンにある図書館と協力し、家族向けのさまざまなプログラムを提供しています。『スーパーマリオメーカー』を使用した「Build Your Own World」は、6歳以上のお子様と保護者の方を対象に、年間を通じて定期的に開催されるプログラムです。参加者にゲームコースづくりを学んでもらうことで、創造力を養ったり、論理的に考えられたりするように促しています。このプログラムは参加者に好評だったので、2018年度も続けて行う予定です。



米国任天堂

ゲームを利用した教育的な取り組み

任天堂の娯楽商品を通じて独創的で豊かな経験を創造するという目標活動の一環として、2017年に『スーパーマリオメーカー』を使った取り組みをスコラスティック社と協力して行いました。米国任天堂とスコラスティック社は、学校でも家庭でも学ぶことができる教育標準に合わせたレッスンコンテンツを開発し、ウェブサイトに掲載しました。

このプログラムの目的は、ゲーム設計とエンジニアリングの原理を通して小学2～4年生にクリティカルシンキング、問題解決、そしてSTEM (科学、技術、工学、数学) スキルを身に付けることです。

ビデオゲームのインタラクティブな性質を通して、学生を魅了して、やる気を引き出す独特の機会が提供できます。このレッスンでは、『スーパーマリオメーカー』が、問題解決能力を養うことやゲームづくりの複雑さに取り組むように促すこと、すでに娯楽的な価値がある商品が、啓発的な教育ツールにもなることを示すことができました。



任天堂オーストラリア

図書館での楽しい学習プロジェクトの支援

オーストラリアおよび世界各地のSTEM科目に対する関心に注目し、任天堂オーストラリアでは、地域の図書館と協力し、『スーパーマリオメーカー』のゲームのコースづくりを学ぶ小学生向けの4週間放課後プログラム、「Mario Maker Mondays」を提供しています。2017年度は、延べ400時間以上このプログラムが行われ、すべての参加者から好意的な反応を得ています。任天堂オーストラリアは、今後もビデオゲームを用いて学習を助けるような創造的なプロジェクトに協力していきます。

安全にお使いいただくための配慮

任天堂は、幅広い年齢層のお客様に安心して楽しんでいただける高品質な商品を提供することを目指し、製品の安全性と信頼性を追求しています。

継続的な啓発活動

任天堂は、「保護者による使用制限機能 (ペアレンタルコントロール機能) (Nintendo Switchでは「みまもり設定」と表示) を導入しています。この機能を利用することにより、各国のレーティングに基づく年齢別使用制限、見知らぬ人とのコミュニケーション制限などが可能になります。

任天堂 (株) ではこの機能についてより多くの保護者の方に情報をご提供するため、各都道府県と連携し、説明会を行っています。また、商品パンフレットにもこの機能について記載し、お客様にも周知しています。



取引先とともに

生産パートナーや開発パートナー、流通パートナーの皆様と良好な関係を築き、より良い商品をお客様に提供できる環境づくりに努めています。

CSR
重点項目

生産パートナーとともに進めるCSR調達



CSR 調達

任天堂は、サプライチェーン全体でCSR活動を進めていくことは、生産現場で働く人の労働環境が向上するだけでなく、高品質な製品の生産につながり、最終的にお客様の笑顔につながっていくと考えています。コミュニケーションと相互理解を重視し、生産パートナーと協働していきます。

2017年度の取り組み

外部専門家からのアドバイスをいただきながら、任天堂のサプライチェーンのリスクを再評価し、どこにリスクがあるのかを改めて整理しました。また、生産パートナーに対しては、より状況を把握できるように「取引先実態調査表」の改善を図りました。その結果をもとに実地調査や第三者監査を実施し、フォローアップ基準に基づいた活動を行うことにより、リスクの軽減を図っています。

CSR 調達の流れ



VOICE



任天堂（香港）有限公司
購買管理部
橋本 尚武

実地調査の流れ（概要）

オープニング	調査実施	クロージング
<ul style="list-style-type: none"> 任天堂CSR調達の説明 任天堂のCSR調達に関する考えかたの共有 任天堂CSR調達ガイドラインの周知 	<ul style="list-style-type: none"> 管理者、担当者とのコミュニケーション 工場運営、ものづくりに関する対話 労務関係書類の確認 工場内巡回による現場の確認 現場の雰囲気や勤務姿勢の洞察 	<ul style="list-style-type: none"> 調査結果の報告 改善事項の共有

任天堂らしいCSR調達活動を目指して

任天堂は製品の生産において、世界中の生産パートナーと協業を行っていますが、協業を進めるうえで、各社の工場の労働環境などに配慮するCSR調達は非常に重要な要素であると考えております。労働者の人権を守ることはもちろんですが、労働環境が悪いと定着率は下がる傾向があり、その結果、品質や生産効率の低下につながります。

私が所属する任天堂（香港）有限公司は、部品調達的一端を担っており、多くの生産パートナーとお付き合いをさせていただいていますが、会社の規模や社風、CSRに対する考えかたは各社さまざまです。そのため、実際に各社の工場を訪問し現場の方々直接向任天宮の考えをお話しさせていただくことが、任天堂のCSR調達の考えを理解していただくうえで重要であると考えていますし、各社の考えかたを伺える機会にもなります。

実際、私も多くの工場を訪問させていただきましたが、任天堂の考えかたに共感いただき、CSRの重要性をご理解いただくことが、各社での自発的なCSRの取り組みにつながると感じています。それが結果として任天堂に関わるすべての人の笑顔につながると信じています。今後も任天堂らしいCSR調達の推進に貢献していきたいと考えています。

外部専門家からのメッセージ

任天堂のCSR調達について

CSR調達では、第三者などによる問題点を指摘することに焦点を当てた監査が一般的な手法ですが、任天堂の実地調査では、任天堂のCSRに対する考えかたについて、社内の資格を持つ購買担当が生産パートナーと直接対話することによって相互理解を高め、より持続可能な調達が可能となるようなパートナーシップを目指していることが特徴といえます。同時に、第三者による監査も並行して実施することで、外部のステークホルダーへの説明責任の観点から客観性にも配慮し、かつ、それぞれの管理手法を補完する形態をとっています。

サプライチェーン上の課題解決に対するステークホルダーの期待は年々高まっています。今後、生産パートナーに対する取り組みを時代の要請に応じた形に進化させることを通じ、サプライチェーンのリスクの低減と同時に、そこに携わる労働者の笑顔を生み出せるような任天堂らしい今後の取り組みに期待したいと思います。

また、任天堂のサプライチェーンは多岐にわたっていますので、ゲーム機の生産パートナー以外のサプライチェーンのリスク評価を進めてきました。把握したリスクに対して具体的な活動を行うことが、次の重要な課題と考えられます。



ロイドレジスタージャパン株式会社
取締役
富田 秀実氏

社員のちからを活かすために

社員一人ひとりが個々の強みを活かし、
最大限に能力を発揮できる環境づくりを進めています。



本社開発棟

CSR
重点項目

多様性のある職場の実現



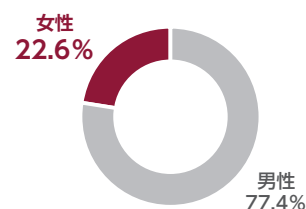
多様性

任天堂には、さまざまな個性を持つ社員が集い、関わる人を笑顔にするために働いています。任天堂の競争力の源泉である社員が働きやすい環境を整えていくとともに、グローバル企業として適切な人権意識を確立していくことが大切だと考えています。

多様な個性の尊重と機会均等

お客様の趣味・嗜好の多様化が進む娯楽の世界にあって、多様な人材の活用は会社の総合力を高めるために欠かせません。任天堂は、今後ますます多種多様な社員の能力が必要になると考え、各人が持つ個性や強みを尊重し活かしていくよう努めています。また、人権を尊重し、社員の性別、年齢、国籍、障がいの有無、性的指向、性自認などに関係なく、発揮された能力によって公正な評価・処遇を実施し、能力発揮をサポートしています。

管理職者男女別構成比[※]



※ 任天堂(株)、米国任天堂、欧州任天堂、任天堂オーストラリアにおける2018年3月末時点の数値



VOICE



任天堂株式会社
人事部
坂尻 洋一

キャリア移行期における研修の実施

任天堂(株)には、さまざまな価値観や背景を持つ社員が在籍しており、一人ひとりがそれぞれの強みを活かして働くことでお客様の笑顔につながっています。社員が、会社でいきいきと働き、また、それを支える日々の生活が充実しているからこそ、最大限の能力発揮につながると考え、将来のキャリアや生活設計を考える機会を提供しています。2017年からは、長く組織に貢献した社員を対象に「ライフプラン・キャリアデザイン研修」を実施しており、会社からの一方通行の情報提供だけでなく、意見交換をする時間を設けています。これは、同じ職場で働く同世代のキャリアを知ることで、多様性についての理解を深めることや、キャリアやライフスタイルの移行期に向けて自身を見つめなおす機会にして、より強みを活かした働きかたを見つけることを目的としています。加えて、社員一人ひとりの価値観に寄り添った支援を行うことが欠かせないと考え、個別にじっくりと話を聞く機会をつくり、社員の笑顔につながるような取り組みを続けています。



米国任天堂
人事部 部長
ロビン コア

多様性とインクルージョン

私たちは、自身がお客様となりうるすべての人々を代表する組織となることで、より良い成果が達成できると考えていることから、多様な社員の専門知識、アイデア、視点を活かせる職場環境づくりが不可欠だと考えています。

2017年、米国任天堂では多様な人材を採用するために、組織の魅力を伝えることと企業文化に合った人を採用するという2点に重点を置き、積極的に求人案内を打ち出したりさまざまな多様性ネットワーキングのイベントに出資・参加しました。求人案内は50以上の多様な人材ウェブサイトにも紹介されています。

また、Employee Resource Groupsという、共通の特徴や経験、趣味を持った社員が任意で集まることにより、社員同士の相互理解を促進するグループをつくりました。これにより、社員が新しいスキルを開発することや、任天堂が多様な人材を保持することを可能にすることで、すべてのお客様を楽しませて、豊かにすることができるようより良い商品を届けることができます。

多様性とインクルージョンの面から、それぞれの考えかたが理解できたとき、より強いチームになれることはもちろん、任天堂らしい永続的な価値を生み出すことにつながると考えています。



欧州任天堂(ドイツ)
人事部 部長
クリスティアーネ ルーケルト

仕事と家庭の調和を支援する制度

私は、16年前に欧州任天堂に入社した際、すでに2人の小さな子どもがいましたが入社して以来、ずっと仕事と家庭の両立ができたと思います。子どもの体調不良や学校の休暇により休みを取ることに対して、任天堂は常に柔軟でした。また、約3年前に夫と3人目の子どもを持つと決めたとき、すでに人事部の部長として勤めていました。私の上司は当初から仕事と家庭のバランスを取ることに対して理解を示してくれており、育児休暇を取得したり、時間短縮をして働いたりするような、家族にとっても一番良い判断をするように奨励してもらいました。育児休暇の間には、上司が代わりに人事部長としての役割を担ってくれました。また、私のチームも非常に協力的でした。

ドイツの法律は、育児休暇を3年間まで取ることができるなど、保護者にとって働きやすい環境を提供していますが、すべての企業が柔軟にこの権利を与えられるわけではありません。私が欧州任天堂の社員の一人として感じるのは、任天堂は、常に保護者(とりわけ母親)が育児休暇を要請したり、時間短縮で働きたい場合柔軟に対応してくれるということです。任天堂では、一般の社員だけでなく、女性の管理職に対しても、たとえば勤務時間を変更したいと相談した場合、法令以上の対応もしてくれています。

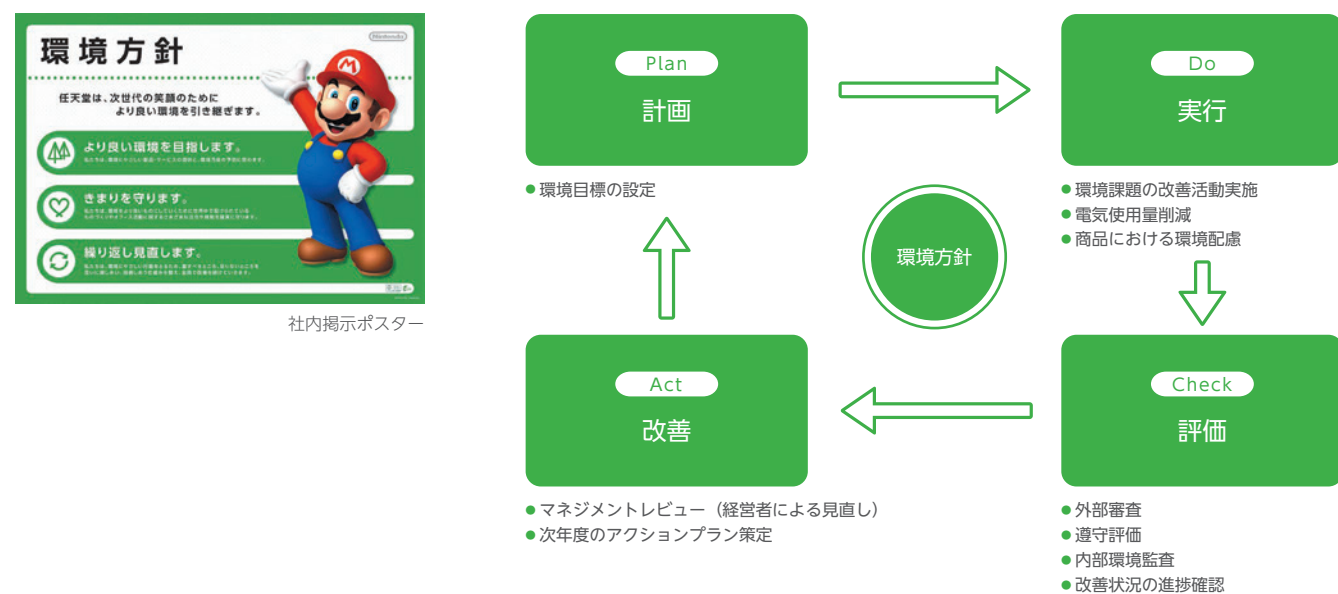


次世代の笑顔のために

より良い環境を次世代に引き継いでいくことは、任天堂の重要な責務のひとつであると考え、地球環境保全に貢献する取り組みを進めています。

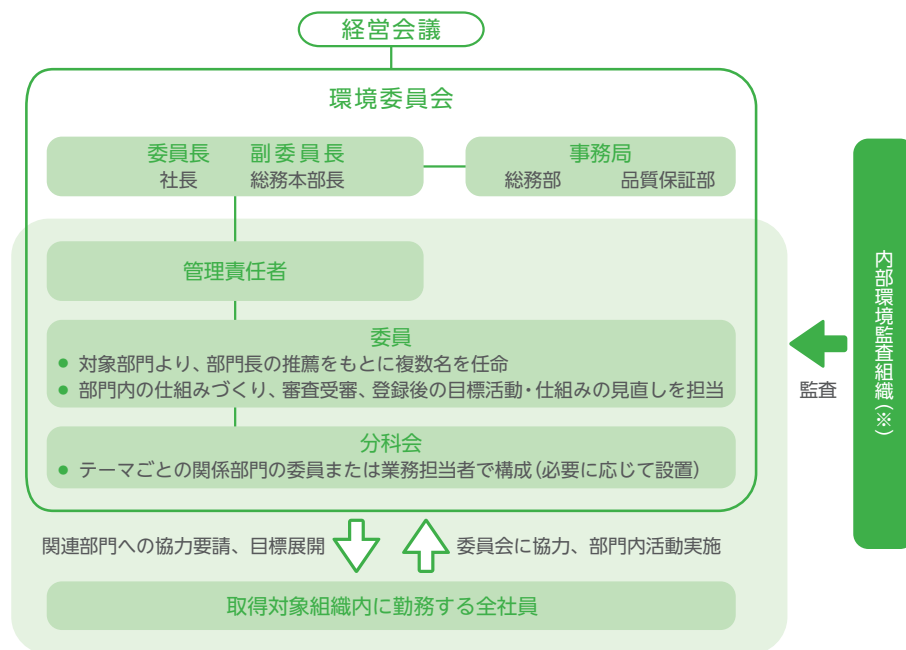
環境マネジメントシステム

任天堂(株)では、組織が一体となって環境活動を推進していくため、社長を委員長とする「環境委員会」を2011年9月に設置し、ISO14001規格に基づく仕組みを導入しました。環境への取り組みの指針となる「環境方針」および環境目標を定め、PDCA(Plan: 計画- Do: 実行 - Check: 評価 - Act: 改善)サイクルを回すことで、継続的な改善を図っています。海外の子会社においても、環境活動を推進する組織を設置し積極的に環境活動に取り組んでいます。



ISO14001:2015年版への移行

任天堂(株)では、2013年2月にISO14001:2004年版を認証取得し、ISO14001規格に基づく環境マネジメントシステムを推進しています。ISO14001規格の2015年版改訂を受け、2018年3月の移行審査を受審し、対応を完了しました。事業活動と一体となって、今後もより実行力のある環境活動を目指し活動を進めていきたいと考えています。



※内部環境監査組織

- 内部環境監査員は、環境委員および対象事業所の社員から適任者を選任
- (1)ISO14001に適合しているか、(2)ルール/法規制が守られているか、(3)環境影響が大きくなっていないか、(4)有効に実施され維持されているか、といった観点から監査を行う

VOICE



任天堂株式会社
品質保証部 部長代理
(環境管理責任者)
矢野 正典

任天堂(株)の環境マネジメントシステムについて

任天堂(株)の環境マネジメントシステムは、2017年度からISO14001:2015年版に活動を移行し、業務の中での環境に関わる活動を強化しました。社長のリーダーシップのもと、経営企画室がまとめる事業計画に、ライフサイクル視点での環境目標を連動させています。ライフサイクル視点とは、原材料の取得または天然資源の産出から最終処分までを含む、連続的かつ相互に関連する製品やサービスシステムの各段階で環境影響を見出すことです。各部門の日常業務の中では、その業務が直接・間接を問わず、及ぼす製品やサービスへの環境影響を低減する活動を行っています。たとえば、ハードウェア設計では環境に配慮した設計、コンテンツ販売ではダウンロード販売の促進、営業部門では輸送経路の見直しなどです。

新しい活動は、業務の中で環境に貢献している実感を得ることができますので、これまで以上に社員の積極性が感じられます。これからも継続的に活動を改善することで、お客様の笑顔に届けられる環境活動を推進していきます。



任天堂株式会社
総務部 部長
(環境管理責任者)
若江 誠

オフィスにおける環境活動に関して

任天堂(株)は2013年に環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001の認証を取得して以来、「任天堂は、次世代の笑顔のためにより良い環境を引き継ぎます」という環境理念を掲げ、組織的に環境保全活動を行っています。

とりわけ、全社員が環境活動に参加できるオフィスでの環境保全活動においては、「紙の節約」「ゴミの排出量削減」「電気の使用量削減」について具体的な数値目標を定め、より積極的に取り組んできました。これらの活動により、2017年度は、京都府および京都市から、「地球温暖化対策条例に基づく事業所排出量削減計画書制度における優良事業者」として表彰していただきました。環境保全活動は、持続可能な社会の実現に不可欠なものであり、「任天堂に関わるすべての人を笑顔にする」ための重要な活動のひとつとして、これからも社員一人ひとりが環境に配慮した企業活動を継続していきます。



米国任天堂
プロダクトサポート部
メリッサ フェルガー

グリーンチーム主導で環境活動を実施

米国任天堂のグリーンチームは、任天堂が目指している環境に配慮した組織と職場の実現のために熱意を持って支えようと、すべての部門から集まったボランティアで構成されています。このチームは、社員が職場でより環境に配慮した選択をできるような教育方法を考案し、任天堂の環境に関する活動を支援することによって、社員一人ひとりが持つ具体的かつ重要な影響についての認識を高めています。事実を伝えるだけでなく、社員のための実践的な体験を提供することで、より環境に優しい生活へのつながりを強化しています。

環境活動の一環として、社員が地域社会の環境活動により簡単に貢献できるようにイベントを開催しています。たとえば、植林や地域の公園での外来種の除去活動などの四半期ごとのボランティア活動に参加し、また、社員が古い電子機器を適切に処分するためのリサイクルイベントも毎年開催しています。

チームの重要なイベントのひとつは、毎年開催される「Earth Day* Fair」です。イベントには地域の環境団体の代表者が参加し、社員の環境配慮への活動が職場や私生活に良い影響を与えるだけでなく、持続可能で魅力的な社会を一緒に作るために必要なことであるという内容の講義を行っています。

※ Earth Day
地球環境について考える日として提案された日。1970年に米国で提唱され、毎年4月22日に世界各地でさまざまな環境保全に関わる取り組みが行われています。



地域社会の笑顔のために

私たちだからこそできる貢献を通じて、社会から愛され必要とされる企業市民でありたいと思っています。

任天堂らしい社会貢献

任天堂のビジネスは社会が健全であってこそ成り立つものと考えています。社会に活かされていることを認識し、私たちだからこそできる貢献は何かを考え、企業市民としての社会貢献活動に努めています。

京都まなびの街生き方探究館への出展

任天堂(株)では、京都市教育委員会が運営する京都まなびの街生き方探究館に開設されている「京都モノづくりの殿堂」にブースを出展し、京都市立小学校を対象に実施している「京都モノづくりの殿堂・工房学習」プログラムに協力しています。ブースでは、任天堂のモノづくりに対する考えかたを学んでもらうために、ゲーム機に使われている技術や、ゲームソフトができるまでの仕事を紹介しています。ブースを訪れた子どもたちから好意的な感想をいただいています。



スターライト子供財団を継続的に支援

米国任天堂、任天堂カナダ、欧州任天堂(イギリス)、任天堂オーストラリアは、難病を患い長期療養を余儀なくされている子どもたちやその家族を支援しているNPO法人「スターライト子供財団」に継続的に協力しています。

VOICE



米国任天堂
オペレーションズ本部長
ドン ジェームズ

スターライト プレイブ ガウンズ

米国任天堂は、「ファン・センター」を通じて療養中の子どもたちを笑顔にするために、25年以上「スターライト子供財団」に協力しています。ファン・センターは、難病を患う子どもたちとその家族と一緒に任天堂のゲームや映画などを楽しむことができる機器です。2017年は300台のファン・センターを寄付しました。

また、スターライトと米国任天堂は、任天堂のキャラクターを使った、子どもたちに力を与え、入院生活を送るうえでの良い助けになる、入院のための特別な病衣「スターライト プレイブ ガウンズ」をつくり寄付しました。その病衣は、鮮やかな色で、高品質の素材にマリオやルイージ、ピーチ、ヨッシー、ドンキーコングなどの任天堂のキャラクターが描かれているのが特徴で、その病衣を着たまま点滴などの医療機器を使用できるようにつくられています。

また、2017年に米国任天堂は「社員寄付マッチングプログラム」を実施し、社員が「スターライト プレイブ ガウンズ」を1着寄付するごとに会社も1着寄付を行いました。社員から大きな反応を得て、多数の社員が参加し、合計約11,000着の「スターライト プレイブ ガウンズ」を寄付することができました。



信頼される企業であるために

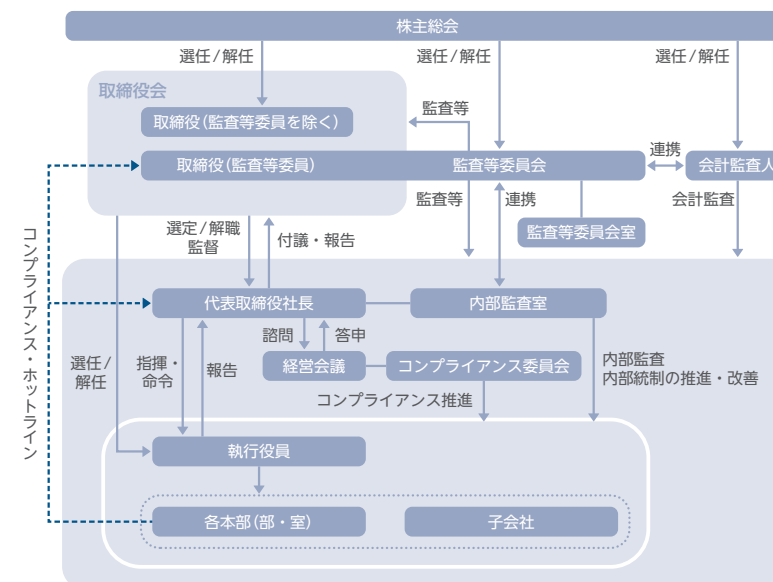
株主や投資家の皆様への利益の還元や適時適切な情報開示に努め、長期にわたりお付き合いいただけるよう信頼関係の構築と企業価値を高める努力を続けています。

コーポレート・ガバナンス

任天堂に関わるすべての人の利益を考慮しつつ、長期的・継続的に企業価値を最大化できるよう、透明性の高い健全なコーポレート・ガバナンス体制の構築と企業倫理の向上に努めています。

コーポレート・ガバナンス体制について

任天堂(株)は、取締役会の監督機能を強化し、コーポレート・ガバナンス体制の一層の充実を図ることを目的として、監査等委員会設置会社制度を採用しています。また、経営の意思決定および監督機能と業務執行機能を分離させ、業務執行権限の委譲を推進することで業務執行における責任の所在を明確にするとともに、事業環境の急激な変化にも適切かつ迅速に対応できる機動的な経営体制を構築することを目的として、執行役員制度を導入しています。



コンプライアンス

企業価値を守るためグローバルに取り組みを推進

事業を行ううえでは、可能な限りリスクを予見し、事業に及ぼす悪影響を最小限に留める必要があります。

任天堂では、主要なグループ会社のリーガル部門責任者が一堂に会するグローバルな会議を定期的で開催しています。



VOICE



欧州任天堂(ドイツ)
リーガル
タモ ゴーデル

法令遵守のためのグローバル協力

任天堂は、世界中の多くの国で商品やサービスを提供しているグローバル企業として、それぞれの国に合わせて法規制を遵守することが求められています。

任天堂では、これら求められていることへの対応に加え、法令を遵守した商品やサービスの提供、今後の潜在的な法的リスクの予見と対応のために、グループ会社のリーガル部門が密に連携しています。

法律や規制、コンプライアンスについて、世界中のグループ会社との間で日常的に意見交換を行っているほか、主要なグループ会社のリーガル部門責任者が一堂に会し、任天堂に影響がある最新の法的動向に関する情報を共有し、現在および将来の計画と法的戦略について議論するグローバルな会議を年に2回開催しています。協力と教育が必要なグローバル法律案件については、影響を受けるビジネス部門のステークホルダーとともに、グループ会社の法律専門家がグローバル会議を開催します。

事業を行ううえでは、法令遵守は不可欠で、任天堂の大事な一部だと考えています。